

平成21年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472601622	事業の開始年月日	平成14年9月1日	
		指定年月日		
法人名	有限会社 坂本企画			
事業所名	グループホームたんぼぼ			
所在地	( 229-0032 ) 神奈川県相模原市矢部3-14-16			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	6	名
		ユニット数	1	ユニット
自己評価作成日	平成22年1月14日	評価結果 市町村受理日	平成22年7月12日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1472601622&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1472601622&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>医療連携をおこなっており、主治医、看護師24時間、電話連絡が可能で、安心して生活ができる様に、支援をしています。 利用者定員が6名で、住宅を改修したホームなので、落ち着ける空間、家庭的な環境作りに力をいれています。</p>
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ｸﾞﾞ ｽﾌﾞﾌﾞ 3階		
訪問調査日	平成22年2月17日	評価機関 評価決定日	平成22年4月28日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>法人の理念は、家庭的な環境で、安心と尊厳のある生活を、利用者の有する能力に応じて可能な限り自立して営むことができるよう、支援することを目的としています。この理念を基本にして、当ホームは「人とのふれあい」「手厚い介護」「安心感」を掲げ、利用者の人格を尊重し、利用者の立場に立った家庭的な手厚い介護のサービスの提供に努めています。</p> <p>法人は利用者の居宅を訪問して介護する訪問介護ステーション、安心して生活できる住まいを提供するグループホームなどを運営し、高齢者の日常生活の介護・介助の幅広いお手伝いを行っています。また、法人は、職員に認知症介護実践研修会、介護支援専門研修会、認知症介護基本講座などへの外部研修会への受講を積極的に勧め、人材育成も熱心に行っています。</p> <p>ホームは医療連携体制の指定を受けており、医師、看護師と連携し、24時間連絡体制をとり、安心して医療を受診できる体制があります。</p> <p>運営推進会議は自治会役員、民生委員、地域包括支援センター職員、利用者家族が出席して、活動内容、行事報告、意見交換を行い、有意義な会議となっています。</p> <p>利用者はお花見会、あじさい見物、和風レストランで昼食、敬老のお祝い、クリスマス会を楽しみ元気に暮らし、利用者家族へは利用者の生活状況や健康状態の近況報告を毎月送り、安心して任せてもらっています。</p>
--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームたんぼぼ
ユニット名	

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>玄関を入った所に、固有の理念が掲示しており、共有している。</p>	<p>当ホーム独自の理念は「人とのふれあい」「手厚い介護」「安心感」を掲げています。理念は玄関フロアに掲示し、職員は日頃の会話、ミーティングや申し送り時に話し合っています。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>散歩や買い物などで、ご近所とは挨拶をしている、回覧板を届けたり、近隣のかたに、草花を頂いたり、付き合いは長く続いている。</p>	<p>自治会に加入し、地域の盆踊り、防災訓練、地元の小学校の運動会などに参加し交流を深めています。地域の方とは散歩や買い物時に声を掛け合い交流に努めています。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>特に行っていない、機会があれば、管理者、職員が、自治会の認知症サポーターなどの、講習に参加したいと思っている。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在2～3ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、サービス向上に努力している。</p>	<p>年2回開催し、地域の自治会役員、民生委員、地域包括支援センター職員、利用者・家族が参加しています。会議では活動内容、行事の取組み、外部評価の受審報告を説明し、質問、意見交換を行って理解と支援を得ています。</p>	
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>生活支援課、介護保険課に積極的に、行くように努めている。</p>	<p>管理者は、市役所介護保険課へ事業所の運営や現場の実情を報告し、業務上の問題などを相談し、助言や指導を仰いでいます。介護保険の更新手続きに家族に代わって出向くこともあります。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関の扉に、ブザーがついており、開くと気づくようになっている、身体拘束は行っていない。</p>	<p>身体拘束をしないケアに取り組んでいます。玄関は、開閉時にブザーが鳴り、安全面と防犯上も含め、家族に了解を得て施錠しています。居室の鍵は、本人に任せ自由な暮らしを支援しています。</p>	<p>職員に身体拘束を正しく理解するための勉強会の開催と玄関の施錠を目配り見守りの工夫などで改善できるよう期待されます。</p>
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ちいさな事でも、見逃さないように、注意を払っている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>講習があれば、参加できるように、考慮している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所前に面接などで、十分に説明をして、納得のうえ契約していただいている、退所後も本人、家族と相談して適正に対応している。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者、職員が声をかけ、話しやすいように雰囲気を作っている、また契約時に書面、口頭で説明している。</p>	<p>苦情や要望の担当窓口は、重要事項説明書に明記し、契約時に説明しています。運営推進会議や家族の来訪時に声かけし、意見や要望を聞いて運営に反映させています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	無記名で、書面を入れる意見箱を置いており、また職員同士で、会議を自主的に行っていて、報告を受けている。	管理者は、職員会議やミーティングの際に職員から日常業務の要望、意見を聞き、業務に反映しています。法人は毎月1回管理者会議を開催し、人員問題、設備面、利用者状況などを話し合い、要望を傾聴し事業に反映しています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々に面談などをして、話し合う機会を作っている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修などは、参加できるような環境になっている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	現在のところ、まだ行われていない。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントなどを通じて、聞く体制を整えており、出来る限り、わかりやすく説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントなどを通じて、聞く体制を整えており、問い合わせにも、わかりやすく説明している。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントなどを通じて、本人と家族の意向を考慮している、また関係者とも相談している。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の生活リズムを大切にしている、その日、その時の場面を大事にし関わり方に、配慮するように、心がけている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、近況報告を書面でしており、電話、訪問時にケアについての方向性、改善点などを、話し合っている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、知人など、気軽に来て頂ける、雰囲気、環境作りに配慮している。	利用者は家族といままで行きつけの美容院に行き、馴染みの関係を継続するように支援しています。家族の命日に家族と一緒に墓参に行く利用者もいます。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	年齢、性別など、困難なところは多いが、職員が間に入り、輪ができてるように思う。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も、電話連絡が来る事もあるが、こちらからは、特に連絡はしていない。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の生活から、希望や意向を聞いている、家族にもこちらから、聞くように声をかけている。	職員は日常の行動や会話の中から、意向や希望を汲み取るように努めています。意向を自分から伝えるににくい方には、居室や夜間の静かな時間帯に話を聞いています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族、以前のケアマネなどから聞いたり、入所時のアセスメント等で、把握している。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り、ケース記録等で、把握している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネ、管理者、職員、ご本人、家族などで意見をかわし、ケアプランに反映している。	本人のアセスメント記録と本人・家族の要望、主治医の所見を入れて、居室担当者の気付いた点をカンファレンスし作成しています。基本的には6か月毎にモニタリングし、随時見直しも行っていきます。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ケース記録、申し送りノートなどで、把握し、ケアプランに反映している。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	事業所は単独施設な為、他の柔軟なサービスは、実施されていない。居宅療養指導、歯科衛生士による口腔ケア、指導を行っている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会、民生委員、地域包括支援センターなどと、連携し、ボランティア等、紹介して頂いている。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携で、24時間電話連絡ができており、適切に医療が受けられる環境にある。	本人や家族の希望するかかりつけ医による医療を継続して受診できるように支援しています。医療情報は個人別にケース記録に記入して、情報の共有に努めています。	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>往診日の前日に、FAXで情報、状態を連絡し、往診時に対応して頂いている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>主治医、家族、入院先と連携し、話し合いをしている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医、事業所と家族と話し合いが、出来る体制にある。</p>	<p>利用者・家族から「重度化した場合における対応に関わる指針について」を説明し、同意を得ています。急変時には、主治医、看護師、家族と職員が話し合い利用者にとって最善の方法を採っています。この方針は関係者間で共有しています。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応など、書面で、見やすい場所に掲示してあり、対応できるようになっている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>自治会、民生委員などを通して、避難場所の掲示、近隣の協力体制はできている。</p>	<p>非常災害時には、日頃より近隣の方、民生委員の方々に協力要請をし、協力得られる状態にあります。防災・避難訓練は平成18年11月以来実施ができていません。非常災害用の主食、飲料水は備蓄してあります。</p>	<p>防災・避難訓練は消防署の指導と協力を得て実施することが期待されます。特に、夜間時の2階の利用者の避難経路の確認と確保が期待されます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接し方、言葉遣いには注意し、個々の対応は出来ていると思う、また職員はプライバシーに配慮し日々ケアを行っている。	職員は入職時に守秘義務に関する誓約書を提出し、日頃よりプライバシーを損ねることのように言葉遣いに配慮しています。個人情報の書類は、施錠のできる書庫に保管しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定出来るように、わかりやすく声をかけている。	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者が6人の為、出来る限り個々に対応している、また出来ない事は、ご本人と話し相談している。	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問で、美容師に来ていただいている、また訪問時期なども、ご本人に合わせている。	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいもの、調理法など、利用者の意見を聞き、メニューを作成している、また後かたづけなど、出来ることは、していただいている。	利用者は職員と一緒に料理の下ごしらえ、配膳、下膳を行っています。職員は利用者と一緒に食べ、食事介助もしています。誕生会では好みのメニューとケーキを提供しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個々に食事量、水分量を記録しており、申し送りなどで、把握できるように、なっている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>起床時、就寝時に声をかけている、また、歯科衛生士による、口腔ケア、歯磨き指導を実践している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個々に行っている、また、主治医の意見、相談を受けている。</p>	<p>支援経過記録により排泄パターンの把握に努め、トイレ誘導を支援しています。利用者のしぐさや表情から声かけし、きめ細かなケアでおむつからリハビリパンツに変えるなど、失禁を減らし、排泄の自立に向けた支援を行っています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>朝食時の牛乳、昼食時のヨーグルト、繊維質の食事を取り入れ、主治医の意見、指導を受けている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>現在、曜日はきめている、時間帯はご本人と話し決めている。</p>	<p>入浴は基本的には週3日で、希望の方には週6日入浴できるように支援をしています。入浴時間は本人の希望をできるだけ優先しています。ほぼ全員に入浴介助が必要であり、利用者が入浴を楽しめるように心がけています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体操をしたり、日中の活動に力をいれている、また、部屋の室温調整をこまめに行っている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬表を薬局から頂き、説明出来るように、置いてある、また、血圧を朝、夜の2回、測定し、変化があれば、24時間、看護師に連絡、指示を仰げる体制にある。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	絵や歌など、好きな物はとりいれている、また、タバコも決められた場所で吸える様になっている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望時に、買い物など、外出している、外泊も叶うように支援している。	利用者は天気の良い日や体調、希望に応じて散歩に出掛けています。体力の維持と向上を目指して、できるだけ毎日、近所に散歩や買い物に出かけるようにしており、安全で楽しい外出の支援を心がけています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の希望もあり、現金は金庫に預かっている、買い物時は、ご本人と一緒に付き添い、支払いをして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望があれば、可能になっている、手紙も希望があれば代筆可能です。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	特に不快な物は置いていない、季節に合わせて、作品などを掲示している。	少人数のグループホームであり、一般家庭の居間と変わらないアットホームな雰囲気の中で、入居者はくつろいでいます。居間には手芸品やぬりえなどの利用者の手作り作品や、職員と共同で作った飾り物を展示し居心地よく過ごしています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング兼食堂にソファがあり、自由に使用して頂いている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	危険に配慮しつつ、好みのものを置いてもらっている、また、職員が訪室したり、居室担当が、衣類の整理をご本人と行っている。	居室は使い慣れた調度品、テレビを置いて、その人らしく生活を楽しんでいます。適度な広さと落ち着いた感じの居室で、一人ひとり個性ある暮らしを送っています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る方は、掃除をして頂いたり、ゴミを捨てたり、出来る事はしていただいている、廊下、階段には手すりがあり、活用している。		

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	新しい利用者様が入居され、利用者同士の関係がうまくいかない。	利用者が孤立せずに、利用者同士が関わりあいを、保てる支援をめざす。	一人ひとりの一日の過ごし方、心身の状況を理解し、声を掛けていく。 職員は共通の話題作りをし、平等に声を掛け、目配り、気配りをおこなう。 職員が間に入り利用者同士の関係を築いていく。	6ヶ月
2	49	外出が出来ない日が多くみられる。	本人の希望を把握し、外に出られるよう、支援していく。	職員が多い日には、職員側から声を掛けていく。 日用品の買出し時にも、利用者と一緒にいけるように、考慮する。 歩行が困難でも、ホームの周りや、花の水やりなど、戸外に出られるよう機会を増やす。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。